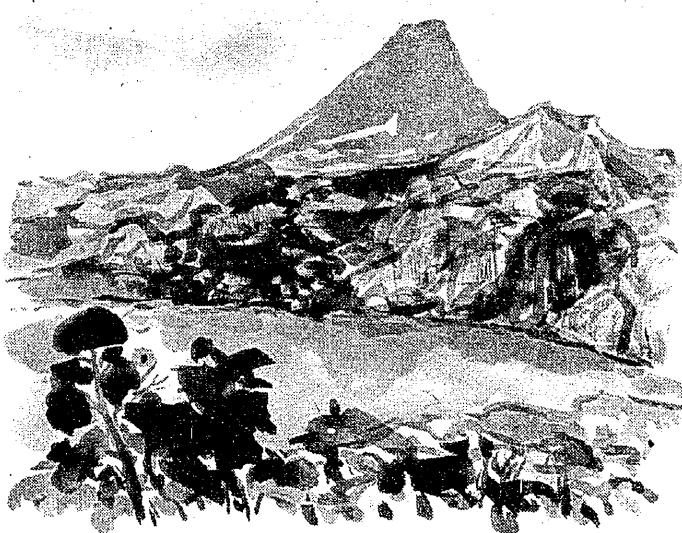


山のある風景



開聞岳と鰐池

画 姉 良 川 男

30、40代は 子と共に働く女性の休日

くらしと統計

いま、女子雇用者は十五百万
人強。雇用労働者の三人に一人
が女性です。漁業会社の「大安」
(本社・京都)が昨年、働く女
性の休日の過ごし方を調べました。
調査対象は東京、京阪神の
二十一~五十五歳の有職女性約五万
人。

「休日は仕事のことは完全無
視している」といふ人が六五%。
次に「子供」(三十・七%)が出て
で微妙な差。二十代は「友人」

と「夫婦

」、「夫婦か最後まで書いた」
と。途中でいつまでもなくなった
から次のままでしていいるとい
つまでも力がつかない」と助言す
る小山内美江子さん(シナリオラ
イター)。

昔は春になると、「土手食
い」という行事をおこなった。
小皿に生みそを盛って出かけ、
土手などに生えている山菜や食
用野菜を食べる。野遊びであり、
野がけである。

まず、上面が平で手ひり的な石
を覗つけたときどきである。熟

くなった石の上に、セリやツキ
ノトウなどを、生みそをからめ
てのせ、こなつてさわててから食
べるのだ。

そして、保存食に頼りがちな
冬の間不足していたビタミンC
を補給する。同時に纖維質をと
つて、体の中にたまたま「毒」
を排出する。

冬の間は、とかく通じもとれ
るのだ。

「人工山菜」のひよかな畑作野
菜はちぢがい、雨に打たれ、風

に吹きつけられながら育つ根性

がある。

生命力もたましい。ヒタヒ
ヒヤミボラル、纖維質などは、
野菜よりもはるかに多く含まれ
ている。

休日には家族そろって「土手
食い」にお出かけ、お腹の中を
きれいにして、体を整へかにし
よう。(永山久夫・食文化史研
究家)

人(四〇%)が「自分」より
多いなり、「夫婦の休日」に
休日利用の趣味や研究となる
と、「なにもしない」(六
〇%)人が多数で、「夫婦」
はまだまだ。

あなたも休日の過ごし方ほ
うかですか。

草木がいつせいに芽吹き、鳥
たちが歌いさわぐ。人間も同じ
であなたも休日は、わくわく
じによって、正常に戻す。活動
の到来を知らせてやる。

冬眠から醒めたクマは、あわ
く心がはずみ、野山にとび出し

たくなる。

朝の到来を知らせてやる。

冬眠から醒めたクマは、あわ
く心がはずみ、野山にとび出し

たくなる。

朝の到来を知らせてやる。